

(記・ニ)

「タイム」クゾハ

ナ沢出合(一

二:〇〇)↓遊

行終了(一二:

三〇)↓踏跡(一二:二二〇)

追記 橋より下部の記録は、クロ

ノ沢の項を参照のこと。

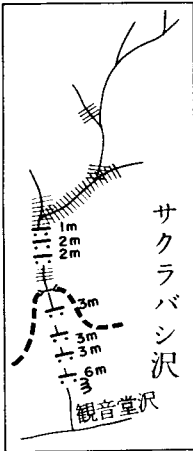
た所からはヤマブドウなど蔓性の植物をかきわけながらのヤブコギで五郎山の中腹にある踏跡に出て、サクラバシ沢の下降に移る。

## サクラバシ沢

一九八三年一〇月一五日

到着。一応橋の下も下降して観音堂

現在地を確認して下降にかかる。五分程で水が出てきた。クゾハナ沢とちがってヤブはひどくなく、楽な下降となった。やがてナメが出てくる。途中に小滝が三つあるだけで、ナメの中をスタスタ歩く感じで橋に



サクラバシ沢

沢まで下ってみたら、こちらにはまず三び、続いて二・五びが二つ、そして最後に六び斜瀑と小さいが滝が続いていた。(記・一)

「タイム」下降開始(一二:二二五)↓

橋(一四:〇〇)